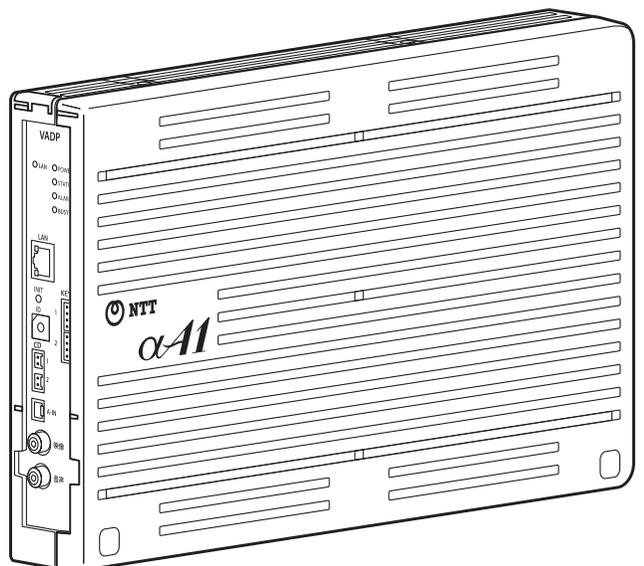


映像アダプタ 取扱説明書

このたびは、スマートネットコミュニティαA1映像アダプタをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

ご使用にあたってのお願い

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音、録画などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを取扱説明書の消去方法（●P8）にしたがって消去する必要があります。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本商品の取り扱いについては、本書とともに必ず、スマートネットコミュニティαA1シリーズの取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
- 本商品の取り扱いについては、本書とともに必ず、ご使用のパソコンの取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 記載している画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は本商品にてご確認ください。また、機能向上のため画面は予告なしに変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

- Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。なお、本文中に™、®マークは明記しておりません。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

警告

- 本商品、電源プラグ、接続ケーブルのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品、電源プラグ、接続ケーブルに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源プラグ、接続ケーブルを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 - ・ 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
 - ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
 - ・ 湿気が多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
 - ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
 - ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
- 本商品の底面部は、温度が上昇しますのでカーペット・ソファなどの上に設置しないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。

注意

- 本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 - ・ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
 - ・ 振動、衝撃の多い場所。
- 本商品は専用の設置用品により、しっかりと固定設置してください。オプション品のお買い求めおよび本商品の設置方法に関しては、当社サービス取扱所にご相談ください。
- 本商品を壁掛け設置する場合は、専用の取り付け金具によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。
- 万一漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。
 - アース線が取り付けられるところは次の部分です。
 - ・ 電源コンセントのアース端子
 - ・ 銅片などを65 cm以上、地中に埋めたもの
 - ・ 接地工事（D種）が行われている接地端子
 - 次のようなところには絶対アース線を取り付けしないでください。
 - ・ ガス管 ・ 電話専用アース線 ・ 避雷針 ・ 水道管や蛇口

お願い

- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバーターエアコン、電磁調理器など）。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・ 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいつきは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や塩分の多いところ（海岸）、亜硫酸ガスが発生する場所（工業地域の大気汚染環境）、アンモニアが発生する場所（工場内、下水処理場等の汚染環境）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて



- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、本商品内部、電源プラグ、接続ケーブル、接続ケーブルコネクタに水などの液体が入った場合は、すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。
- 本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
- 本商品や電源プラグ、接続ケーブルに水をかけたり、ぬれた手で操作や電源プラグ、接続ケーブルの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源は、AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください



- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- お客様による本商品の設置工事、配線作業、修理、移動などは危険ですから絶対におやめください。本商品の設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 本商品の電源コードや接続ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると本商品の電源コードや接続ケーブルが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードや接続ケーブルが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品の電源コードや接続ケーブルが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品や本商品の電源コードや接続ケーブルを熱器具に近づけないでください。キャビネットや本商品の電源コードや接続ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品をお手入れするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の電磁部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の電磁部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。



警告

- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、本商品の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。
 - ・ 本商品を仰向けや横倒し、逆さまにする。
 - ・ 本商品を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
 - ・ 本商品をじゅうたんや布団の上に置く。
 - ・ 本商品にテーブルクロスなどをかける。
 - ・ 本商品の周りに物をおいて、通風孔をふさぐ。
- 近くに雷が発生したときは、電源コード、LANケーブルを抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。
- お客様がご用意された機器を接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本商品を移動するときは、電源プラグ、接続ケーブルを抜いたことを確認してから行ってください。電源プラグ、接続ケーブルが差し込まれたまま移動すると、電源コードなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



注意

- 本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 本商品のオプション品の専用スタンド底面はゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

STOP

お願い

- 電源を再度入れる場合は、電源を切った状態から5秒以上たったあとに行ってください。
- 使用中は電源を切らないでください。設定変更中やバージョンアップ中に電源を切ると、回復不能な故障の原因になることがあります。
- 本商品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、接続ケーブルコネクタは、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

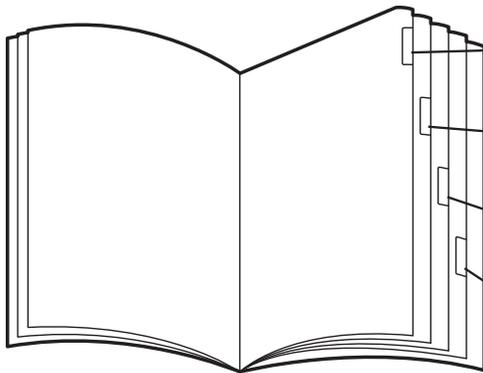
廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを下表にしたがって消去する必要があります。

記録内容	処置（取扱説明書参照ページ）
すべての設定データ	本商品を初期化してください。（●P43）
すべての録画データ	蓄積映像の初期化を行ってください。（●P36）

この取扱説明書の見方

この取扱説明書の構成



- 1 お使いになる前に**
お使いになる前に知っておいていただきたいことや、用途別索引などをまとめています。
- 2 映像を操作する**
メディアIP電話機で操作する方法について説明しています。
- 3 Web設定を行う**
Webブラウザを使ってパソコンから本商品を設定する方法を説明しています。
- 4 ご参考に**
故障かな? と思ったときの確認方法や保守サービスなどについて説明しています。

※ 本商品をご利用になるには、主装置の設定が必要です。「用途別索引」(●P12) をご覧のうえ、主装置の取扱説明書をあわせてお読みください。

操作説明のページの構成

章タイトル

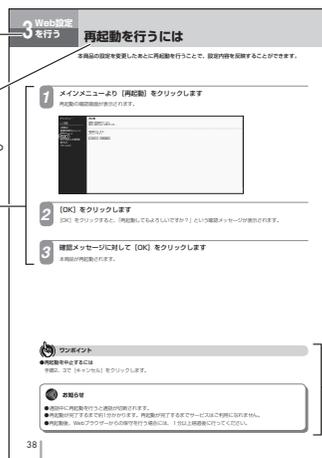
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明

順番に操作を説明しています。



ワンポイント／お願い／お知らせ 〈ワンポイント〉

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示します。

〈お願い〉

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

〈お知らせ〉

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
この取扱説明書の見方	9

1 お使いになる前に

システム概要	11
用途別索引	12
セットを確認してください	14
各部の名前とはたらき	15
設置と接続について	17

2 映像を操作する

映像を操作するには	18
映像の保存について	18
カメラドアホンからの呼び出しに応答するには	19
電気錠について	19
外の様子を確認するには	20
外付けカメラを使う	21
映像を再生／削除／保護するには	22
映像を再生する	22
映像を削除する	24
すべての映像を削除する	25
映像を保護／保護解除する	27

3 Web設定を行う

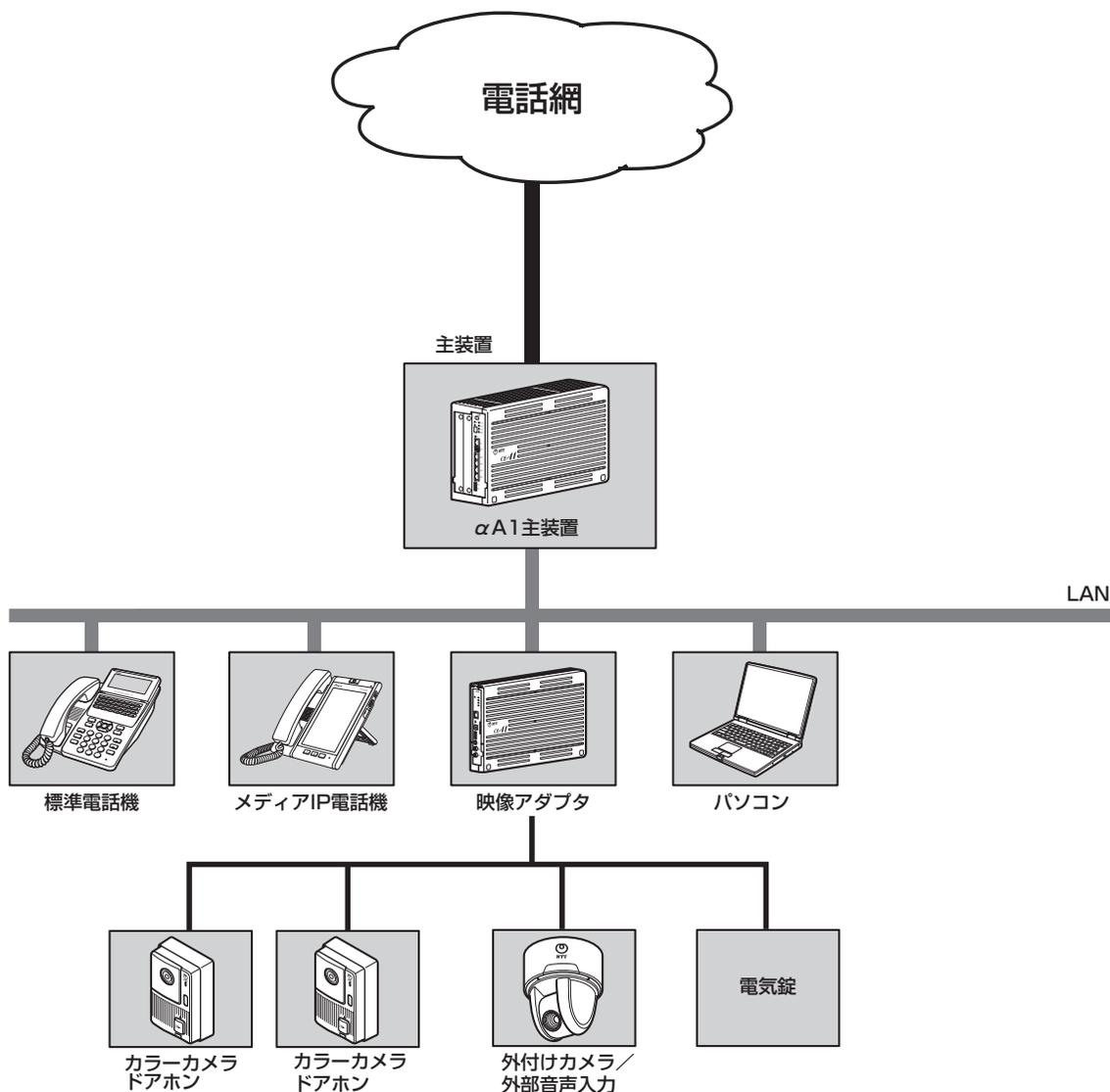
パソコンを接続するには	28
お客様にご用意いただくもの	28
Webブラウザを設定するには	29
映像アダプタ設定を行うには	31
映像アダプタメニュー一覧	32
現在の状態を確認するには	33
蓄積映像を操作するには	34
映像を保護／保護解除する	34
映像を消去する	34
保存領域の状態を確認するには	35
蓄積映像の全初期化を行うには	36
ユーザー用 ID / パスワードを設定するには	37
再起動を行うには	38
ファームウェアを更新するには	39
動作ログを確認するには	40
アラームログを確認するには	41

4 ご参考に

停電になったときは	42
映像アダプタをお買い求めのときの	
状態に戻すには	43
故障かな？と思ったら	44
索引	46
仕様	47
保守サービスのご案内	48

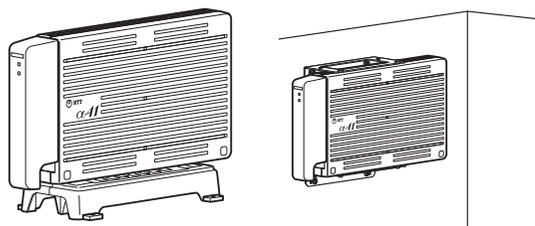
システム概要

本商品は、主装置、カラーカメラドアホンと組み合わせ、来訪者の映像をメディアIP電話機で表示したり、映像を保存するための装置です。
主装置であらかじめ外出先への転送を設定しておくことで、ドアホンからの呼び出しに外出先から応答することもできます。



■設置する

縦置きで設置するほか、壁に取り付けることができます。



■接続する

本商品を主装置やカメラドアホンと接続し、電源を入れてランプ表示を確認します。

- 本商品を接続する ●P17

■電気錠を施錠／解錠する

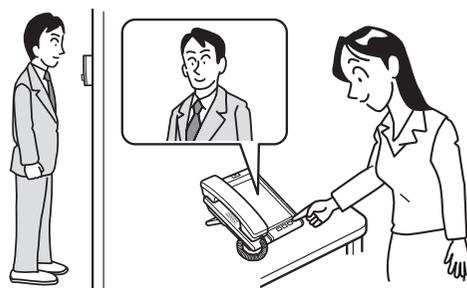
主装置からの信号を受け取ると、接続された電気錠を施錠／解錠することができます。

- 電気錠を操作する ●P19

■カメラドアホンからの呼び出しに 応答する

カメラドアホンからの呼び出しに応答し、来訪者と通話します。

- メディアIP電話機による操作 ●P19
- 外出先から応答する ●P19



■ 外の様子を確認する

カメラドアホンまたは外付けカメラを呼び出して、周囲の様子を確認することができます。

- メディア IP電話機による操作 ●P20

■ カメラドアホンの映像を録画する

メディア IP電話機では、映像を手動で保存することもできます。

- メディア IP電話機による操作 ●P18

■ 映像を再生／削除する

保存されているカメラドアホンの映像を、再生、削除できます。

- メディア IP電話機による操作 ●P22
- Webブラウザから蓄積映像を操作するには ●P34

■ ファームウェアを更新する

本商品は、手動でファームウェアを更新することができます。

- ファームウェアを更新するには ●P39

■ 各種のデータを管理する

動作ログやアラームログを確認することができます。本商品に保存されている蓄積データを消去することもできます。

- 映像アダプタ設定を行うには ●P31

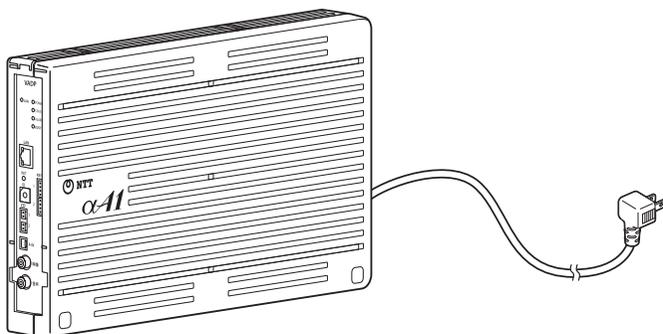


お知らせ

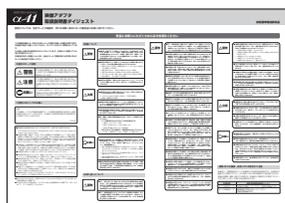
- お客様が本商品を利用して映像や音声を録画、録音をする際は、プライバシー等にご配慮ください。

セットを確認してください

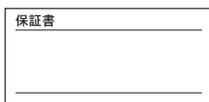
■本体



■付属品



取扱説明書ダイジェスト
(1枚)



保証書(1枚)



2ピンクイックコネクター
(3個)



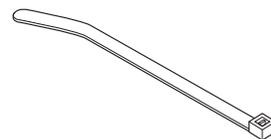
4ピンクイックコネクター
(2個)



フロントカバー (1個)



装置固定用ねじ(2本)



ケーブルタイ(2本)

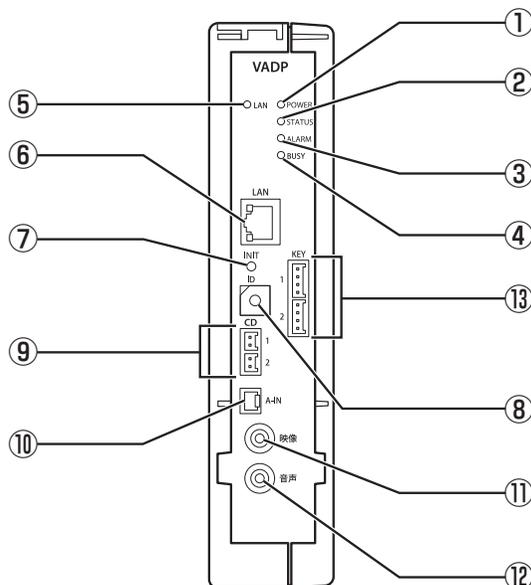
名称	数量	説明
取扱説明書ダイジェスト	1	概要を説明しています。
保証書	1	保証書です。大切に保管してください。
2ピンクイックコネクター	3	ドアホン接続用のコネクターです。
4ピンクイックコネクター	2	テレコン端末（電気錠）のコネクターです。
フロントカバー	1	本商品の配線カバーです。
装置固定用ねじ	2	装置固定用のねじです。
ケーブルタイ	2	配線固定用です。

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

各部の名前とはたらき

各部の名前とはたらき
セットを確認してください

【前面】

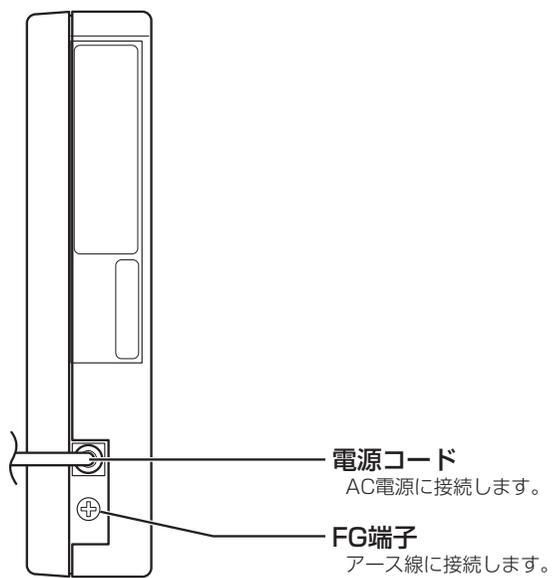


【ランプ表示】

番号	ランプ		本商品の状態
	種類	つき方(色)	
①	POWER ランプ	点灯 (緑)	電源が入っている
		消灯	電源が切れている
		速い点滅 (緑)	初期化スイッチ受付/初期化処理中
		遅い点滅 (緑)	サバイバルモード動作中
②	STATUS ランプ	点灯 (緑)	正常な状態
		速い点滅 (緑)	主装置との通信接続処理中
		遅い点滅 (緑)	更新ファームウェアのダウンロード中
		消灯	主装置と通信していない状態
③	ALARM ランプ	点灯 (赤)	活性化に失敗、機器異常、または主装置との通信が途切れた状態
		消灯	正常な状態
④	BUSY ランプ	点灯 (緑)	本商品の機能を使用している状態
		点滅 (緑)	本商品の起動中(閉塞状態)
		消灯	主装置と通信していない状態
⑤	LAN ランプ	点灯 (緑)	LAN 接続中
		点滅 (緑)	LAN 接続中(データ転送時)
		消灯	LAN 未接続

番号	名称	説明
⑥	LAN ポート	主装置に接続します。
⑦	初期化スイッチ (INIT)	本商品をお買い求めの時の状態に戻すときに使用します。(●P43)
⑧	識別スイッチ (ID)	同一 GW 識別用のスイッチです。
⑨	CD1/CD2 接続端子	カラーカメラドアホンに接続します。
⑩	セキュリティー装置接点入力端子 (A-IN)	使用しません。
⑪	映像入力端子	外付けカメラの映像出力端子と接続します。
⑫	音声入力端子	外付けカメラの音声出力端子と接続します。
⑬	KEY1/KEY2 接続端子	電気錠に接続します。

【背面】



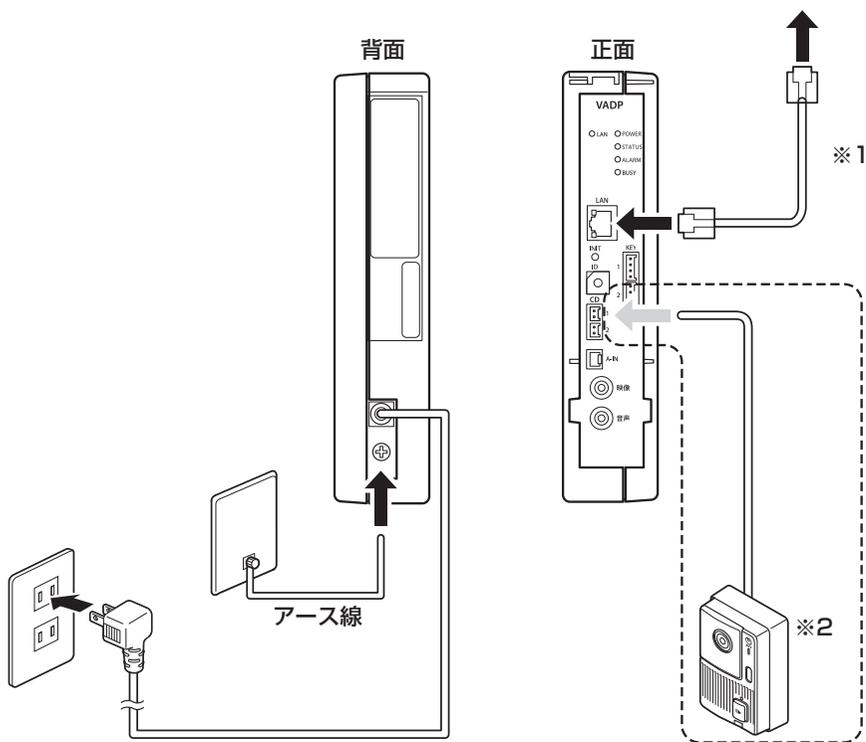
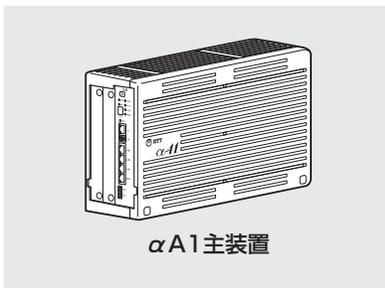
STOP お願い

- 初期化スイッチ・識別スイッチは操作・変更しないでください。操作・変更されるとご利用になれなくなります。

設置と接続について

最初に設置される場合、外付けカメラ等のオプションを増設される場合は当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

■接続例



※1 主装置のLANポートが足りない場合は、αA1 給電HUBなどを介して主装置と本商品を接続してください。

※2 接続については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

STOP お願い

- お手入れする際、ケーブルを外す場合は当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- 識別スイッチは絶対に回さないでください。

映像を操作するには

カメラドアホンからの呼び出しに、メディアIP電話機で応答することができます。また、保存した映像を再生したり削除したりすることもできます。

映像の保存について

●手動保存について

カメラドアホンとメディアIP電話機との通話中に、メディアIP電話機を操作することによって映像を保存することができます。

また、外付けカメラとメディアIP電話機の通信中に、メディアIP電話機を操作することによって映像を保存することができます。

メディアIP電話機で録画開始、録画停止の操作を受け付けた場合、「ピーピー」と鳴り、動作したことをお知らせします。また、録画の保存が完了した場合も「ピーピー」と鳴り、お知らせします。

なお、メディアIP電話機で保存操作を行った場合、録画終了後の約5秒間（映像の保存中）は、次の保存操作が遅延することがあります。

なお、手動保存に対応している端末はメディアIP電話機のみです。

●保存できる映像の容量について

保存できる映像の上限値の目安は以下の通りです。

映像サイズ	1件における最大録画時間	全体での最大録画件数
QVGA	約10秒	100件

なお、手動保存時に保存容量が不足している場合は「ピピピピピピ」と鳴り映像は保存されません。

●保護について

手動保存される映像データの保護／保護解除について、録画完了の時点では映像データは保護解除されていますが、メディアIP電話機または、Webブラウザーからの操作により保護／保護解除を変更することができます。

映像データの保護／保護解除を操作できる端末はメディアIP電話機のみです。

- メディアIP電話機から映像を保護／保護解除する ●P27
- Webブラウザーから映像を保護／保護解除する ●P34

●保存する内容について

カメラドアホンにおいて保存されるデータは、カメラドアホンの映像とカメラドアホン側の音声となります。

外付けカメラにおいて保存されるデータは、外付けカメラの映像と音声入力端子側の音声となります。



お知らせ

- ご使用のカメラドアホンによっては、夜間などカメラドアホン側が暗いときに白黒映像になります。
- 手動保存開始直後に保存停止操作を行った場合、蓄積映像データの準備不足により、「ピピピピピピ」と鳴り映像が保存されない場合があります。

メディアIP電話機または外出先から、カメラドアホンの呼び出しに応答することができます。

1

応答操作をします

●メディアIP電話機で応答するときは

カメラドアホンからの呼び出しがあると、チャイム音が鳴って内線ボタンが点滅し、カメラドアホンの映像が表示されます。

ハンドセットを上げてお話しします。詳しくはメディアIP電話機の取扱説明書を参照してください。

●外出先から応答するときは

①外出先で着信に応答します

応答した時点では、こちら側の声は相手に聞こえません。また、相手側の声も聞こえません。

応答後、約10秒で音声ガイダンスが聞こえます。

②音声ガイダンスに従って0を押します

「ピーピー」という音が聞こえたら、相手と通話できる状態になります。

0を押さない場合、約1分で切断されます。

2

お話しが終わったら電話を切ります



ワンポイント

●外出先でカメラドアホンに応答するには

カメラドアホンからの呼び出しに外出先で応答するには、あらかじめドアホン着信転送の設定が必要です。詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

また、外出先で応答し通話するには、外出先の機器からプッシュ信号を送出する必要があります。プッシュ信号を送出できない機器ではご利用になれません。



お知らせ

- カメラドアホンとの通話は、約8分で切れます。
- カメラドアホンとの通話中は、他のカメラドアホンからの呼び出しは受けられません。
- カメラドアホンとの通話中は、外付けカメラを呼び出すことはできません。
- 映像に対応していない端末では、音声のみの応答になります。
- 外出先でカメラドアホンからの呼び出しに応答した場合、音声のみの通話になります。

電気錠について

本商品に電気錠操作盤と電気錠を接続すると、電気錠を施錠／解錠することができます。

詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

外の様子を確認するには

メディアIP電話機を使って、カメラドアホンの周囲の様子を確認することができます。
映像アダプタ1台につき、カメラドアホン2台までを接続できます。

1

カメラドアホンを呼び出します

ハンドセットを上げて、カメラドアホン番号を押します。(●ワンポイント)

2

様子を確認します

カメラドアホンの映像が表示されます。
こちら側の声が相手に聞こえます。

3

確認が終わったら電話を切ります



ワンポイント

●カメラドアホンを呼び出す番号は（カメラドアホン番号）

主装置の「システム設定」により番号を変更することができます。当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

カメラドアホン1：「 」

カメラドアホン2：「 」



お知らせ

- カメラドアホンとの通話は、約8分で切れます。
- カメラドアホンとの通話中は、他のカメラドアホンからの呼び出しは受けられません。
- カメラドアホンとの通話中は、外付けカメラを呼び出すことはできません。

外付けカメラを使う

外付けカメラを本商品に接続している場合は、外付けカメラの周囲の様子を確認することができます。
なお、外付けカメラを利用できる端末はメディアIP電話機のみです。
映像アダプタ1台につき、外付けカメラ1台を接続できます。

1 外付けカメラを呼び出します

ハンドセットを上げて、外付けカメラ番号を押します。(☛ワンポイント)

2 様子を確認します

外付けカメラの映像が表示されます。

3 確認が終わったら電話を切ります

2
映像を
操作する

外の様子を確認するには



ワンポイント

●外付けカメラを呼び出す番号は

主装置の「システム設定」により番号を変更することができます。当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

外付けカメラ：「 」

●外付けカメラ映像の保存について

外付けカメラとメディアIP電話機との通信中に、メディアIP電話機を操作することによって、映像を保存することができます。(☛P18)

●音声をモニターするには

音声入力端子に外付けカメラの音声出力端子を接続すれば、音声をあわせてモニターすることができます。

映像を再生／削除／保護するには

メディアIP電話機を使って映像アダプタ内の映像を各種操作することができます。映像アダプタに保存されている映像の再生や削除をしたり、削除できないように保護したりすることもできます。なお、メディアIP電話機の表示モードによって、ボタンもしくはダイヤルによる操作が可能です。以下はボタン操作による手順となります。

映像を再生する

1 ハンドセットを置いたまま、[内線] をタップします

「ツーツー」という音を確認してください。



2 映像再生用の特番をタップします (ワンポイント)

再生モード選択画面が表示されます。

3 再生対象をタップします (ワンポイント)



4 [全蓄積映像再生] または [未再生映像再生] をタップします (ワンポイント)

[全蓄積映像再生]：録画順にすべての保存映像を再生します

[未再生映像再生]：録画順に未再生映像を再生します

■手順 3 で [全映像再生／削除] を選択した場合



■手順 3 で [ドアホン 1 映像再生]、[ドアホン 2 映像再生]、[外付けカメラ映像再生] を選択した場合



手順 3 の画面に戻るときは [モード選択画面へ] をタップします。

5 再生された映像を見ます (ワンポイント)

[戻る]：再生中の前の映像を再生します

[次へ]：再生中の次の映像を再生します



手順3の画面に戻るときは [モード選択画面へ] をタップします。

6 終了するときは、[スピーカ] をタップします

ワンポイント

●映像再生用の特番

主装置の「システム設定」により番号を変更することができます。当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

映像再生用の特番：「 」

●蓄積映像再生を行えない場合

蓄積映像を書き込んでいる場合など蓄積映像を再生できないときに、手順2の操作を行うと「他者使用中です。しばらくお待ちください」と表示されます。しばらくお待ちになるか、しばらくしてから、もう一度操作してください。蓄積映像が再生できるようになると、自動で再生モード選択画面へ遷移します。

●蓄積映像がない場合

手順4の操作を行うと「蓄積映像がありません」と表示されます。

●メディアIP電話機の表示モードを切り替えるには

メディアIP電話機の (操作ボタン) をタップすることで、メディアIP電話機の表示モードを切り替えることができます。詳しくはメディアIP電話機の取扱説明書を参照してください。



お知らせ

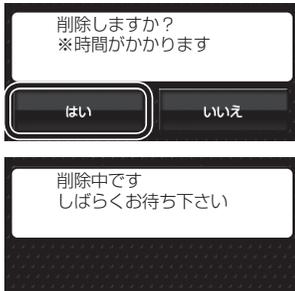
- 映像再生中は、音声スピーカーから聞こえます。
- 同一の映像アダプタで他の機能が動作している場合、映像の再生は行えません。
- 映像再生後、次に再生する映像がない場合、映像は変わりません。
- 映像データの読み込み中のキー入力は、無効になります。
- 映像再生は1件ごとに行います。次の映像再生を行う場合は「次へ」を選択してください。

映像を削除する

1 削除する映像の再生中に、[削除] をタップします



2 [はい] をタップします



3 削除が完了します



保存されている映像がある場合は、削除が完了して一定時間が経過すると、次の映像が表示されます。モード選択画面へ戻るときは、削除完了後、[モード選択画面へ] をタップします。



お知らせ

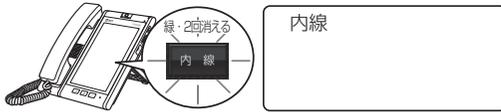
- 映像の削除実行中は、映像の手動保存に遅延が発生します。
- 映像の削除には時間がかかることがあります。その場合、画面の指示どおり、そのまましばらくお待ちください。
- 消去中には本商品の電源を切らないでください。

すべての映像を削除する

1

ハンドセットを置いたまま、[内線] をタップします

「ツーツー」という音を確認してください。



2

映像再生用の特番をタップします (ワンポイント)

再生モード選択画面が表示されます。

3

[全映像再生/削除] をタップします



4

[全蓄積映像削除] をタップします

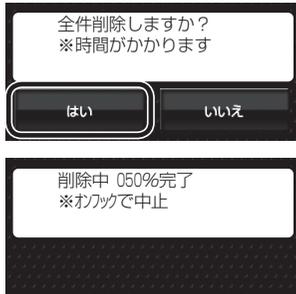


手順3の画面に戻るときは [モード選択画面へ] をタップします。

2
映像を
操作する

映像を再生/削除/保護するには

5 【はい】 をタップします (☞ ワンポイント)



6 削除が完了します



7 終了するときには、【スピーカ】 をタップします

ワンポイント

- 蓄積映像がない場合
手順5の操作を行うと「蓄積映像がありません」と表示されます。

お知らせ

- 保護された映像は削除できません。保護解除してから削除を行ってください。
- 映像の削除実行中は、映像の手動保存に遅延が発生します。
- 映像の削除には時間がかかることがあります。その場合、画面の指示どおり、そのまましばらくお待ちください。
- 消去中には本商品の電源を切らないでください。

映像を保護／保護解除する

●保護を設定する

1

保護する映像を再生中に、[保護切替]をタップします



●保護を解除する

1

保護を解除する映像を再生中に、[保護切替]をタップします



2
映像を
操作する

映像を再生／削除／保護するには



お知らせ

- 保護された映像は削除できません。保護解除してから削除を行ってください。

パソコンを接続するには

Web設定を行うために、映像アダプタとパソコンを接続します。

お客様にご用意いただくもの

・パソコン

10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応したLANポートを備えていることをご確認ください。



・LAN ケーブル

市販のLANケーブルをご用意ください。



ワンポイント

●Web設定を行う前に

本商品のWeb設定を行うパソコンは次の条件を満たす必要があります。

OS	推奨ブラウザ
Windows 8.1 (Windows 8.1、Pro、Enterprise) (32bit/64bit)	Internet Explorer 11.0 ※1
Windows 7 (Home Premium (SP1)、Professional (SP1)、Ultimate (SP1)) (32bit/64bit)	Internet Explorer 11.0 ※1

※1 デスクトップ用Internet Explorerをご利用ください。タッチデバイス用に最適化されたWindows UIのInternet Explorerは使用しないでください。

項目	条件
同時接続台数	1台
解像度	XGA以上
文字サイズ	「中」以下
文字コード	Shift-JIS

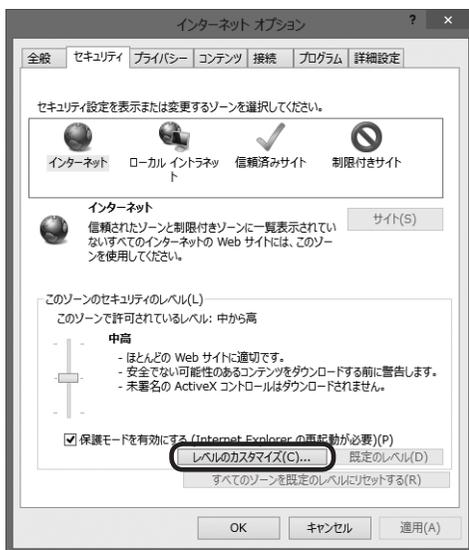
Webブラウザを設定するには

本商品の設定は、パソコンの Webブラウザで行います。
お使いの Webブラウザで JavaScript が利用可能になっていることを確認してください。
以下は、Internet Explorer 11.0 で確認する方法を説明しています。

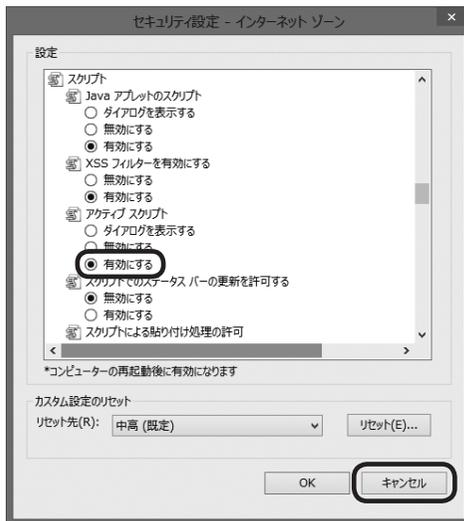
1 Internet Explorer を起動します

2 [ツール] メニューの [インターネットオプション] をクリックします

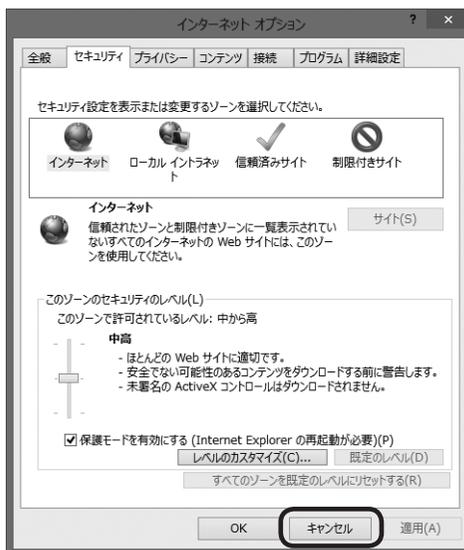
3 [セキュリティ] タブをクリックし、[レベルのカスタマイズ] をクリックします



4 [スクリプト] の項目で、[アクティブスクリプト] の設定が [有効にする] になっていることを確認し、[キャンセル] をクリックします



5 [インターネットオプション] 画面の [キャンセル] をクリックします



3 Web設定を

Webブラウザを設定するには
パソコンを接続するには



ワンポイント

●ポップアップをタブで表示する設定にしている場合は

Internet Explorer 11.0 をご利用の場合、ポップアップを新しいタブで表示する設定に変更していると、操作しにくい場合があります。次のように操作して、設定を変更してください。

- ① 手順 1 ～ 2 の操作をする
- ② [全般] タブの [タブ] をクリックする
- ③ [ポップアップの発生時] で [常に新しいウィンドウでポップアップを開く] を選択し、[OK] をクリックする
- ④ [インターネットオプション] 画面の [OK] をクリックする



お知らせ

- アクティブスクリプトの設定が [有効にする] になっていないと、利用メニューから各機能をクリックしてもエラーメッセージが表示されて、ご利用になれません。
- PC接続機能をご利用になる場合、Webブラウザ画面の大きさを変えないでください。設定した文字等が欠けて表示される場合があります。

映像アダプタ設定を行うには

Webブラウザーを使って映像アダプタに関する設定を行います。本商品に接続したパソコンのWebブラウザーでログインし、データ設定を行うことができます。

画面はWindows 8.1の例です。

なお、Webブラウザーを使って映像アダプタに関する設定ができるのは、パソコンを接続している場合のみです。

本書ではInternet Explorer 11の画面イメージで説明しています。

1 本商品に接続したパソコンでWebブラウザーを起動します

2 Webブラウザーのアドレス欄に映像アダプタのIPアドレスを入力し、[Enter] キーを押します



3 ユーザー名／パスワードを入力し、[OK] をクリックします

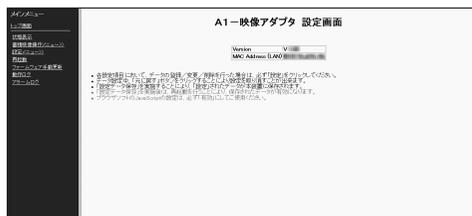
お買い求め時のユーザー名は「admin」です。パスワードは「admin」です。

ユーザー名、パスワードは変更することができます。
(▶P37)



4 メインメニューが表示されます

左側のメニューから項目をクリックして、データ設定または保守画面へ移動することができます。



お知らせ

- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- 本商品のIPアドレスは、忘れないようご注意ください。IPアドレスを忘れると、パソコンから本商品を利用できなくなります。本商品のIPアドレスを忘れた場合は、当社のお問い合わせ窓口へお問い合わせください。

映像アダプタ設定を行うには

映像アダプタメニュー一覧

大項目	中項目	説明	参照ページ
トップ画面		バージョン情報、MAC アドレスを表示します。	➡P33
状態表示		現在の状態を表示します。	➡P33
蓄積映像操作メニュー	蓄積映像操作	蓄積映像の保護／保護解除／消去を行います。	➡P34
	保存領域状態	映像アダプタの記憶領域容量の状況を表示します。	➡P35
	蓄積映像初期化	映像アダプタに保存されている蓄積映像を初期化します。	➡P36
設定メニュー	ユーザ用 ID / パスワード 設定	ユーザー用 ID、パスワードを設定します。	➡P37
	設定データ保存	設定内容の変更を映像アダプタに保存します。	➡P37
再起動		映像アダプタを再起動します。	➡P38
ファームウェア手動更新		ファームウェア手動更新を行います。	➡P39
動作ログ		動作ログを表示します。	➡P40
アラームログ		アラームログを表示します。	➡P41

現在の状態を確認するには

映像アダプタのバージョンや、主装置登録状態、動作の状態、MACアドレスなどを確認します。

1 メインメニューより [状態表示] をクリックします

2 情報を確認します

状態表示	
システムの各状態を表示します。	
バージョン	
プログラムバージョン	VADP-GW Ver. ▶
BOOTバージョン	VADP-GW Ver. ▶
主装置接続状態	
主装置接続状態	未接続
動作状態	
カメラアホン1	未使用
カメラアホン2	未使用
外部カメラ	未使用
再生回路	未使用
電気錠1	未使用
電気錠2	未使用
BR-GW接続状態	
BR-GW接続状態	未接続
動作モード	
動作モード	通常モード
MACアドレス	
MACアドレス	XXXXXXXXXX
ネットワーク	
IPアドレス	192.168.1.200
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	10.0.0.1

現在の状態を確認するには
映像アダプタ設定を行うには

蓄積映像を操作するには

映像アダプタに蓄積された映像の保護／保護解除、消去を行います。

映像を保護／保護解除する

映像アダプタに保存されている映像を削除されないように保護したり、映像の保護を解除することができます。

- 1 メインメニューより【蓄積映像操作メニュー】をクリックします
- 2 蓄積映像操作メニューより【蓄積映像操作】をクリックします
- 3 保護／保護解除を行う映像を選択します
- 4 【保護】または【保護解除】をクリックします



映像を消去する

映像アダプタに保存されている映像を消去します。

- 1 メインメニューより【蓄積映像操作メニュー】をクリックします
- 2 蓄積映像操作メニューより【蓄積映像操作】をクリックします
- 3 削除する映像を選択します
- 4 【消去】をクリックします



お知らせ

- 消去中には本商品の電源を切らないでください。また、消去が終了するまで Web ブラウザーを操作しないでください。



ワンポイント

- 蓄積映像をすべて消去するには
画面下の【OK】をクリックします。保護された映像は消去されません。
- 蓄積映像がない場合
手順 2 の操作を行うと「蓄積映像がありません。」と表示されます。

保存領域の状態を確認するには

映像アダプタの記憶領域の空き容量を確認します。

1

メインメニューより【蓄積映像操作メニュー】をクリックします

2

蓄積映像操作メニューより【保存領域状態】をクリックします

3

記憶領域の容量を確認します



蓄積映像の全初期化を行うには

映像アダプタに蓄積した映像を初期化します。保護された映像もすべて消去されます。

1

メインメニューより [蓄積映像操作メニュー] をクリックします

2

蓄積映像操作メニューより [蓄積映像初期化] をクリックします

3

[OK] をクリックします



お知らせ

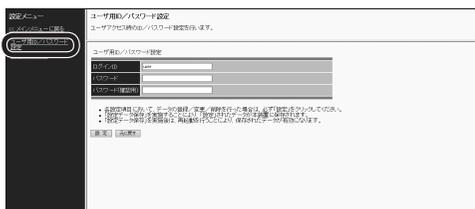
- 映像の削除には時間がかかることがあります。
- 映像の削除実行中は、映像の手動保存に遅延が発生します。
- 映像の削除実行中の映像再生操作は、「他者使用中です。しばらくお待ち下さい」と表示される場合があります。
- 消去中には本商品の電源を切らないでください。また、消去が終了するまで Web ブラウザーを操作しないでください。

ユーザー用 ID / パスワードを 設定するには

本商品のWebブラウザー画面にログインするためのログインIDとパスワードを設定します。

1 メインメニューより [設定メニュー] をクリックします

2 設定メニューより [ユーザー用 ID / パスワード設定] をクリックします



3 下記の内容に従い、ユーザー用 ID / パスワードの設定を行います

項番	名称	説明	設定範囲	初期値
①	ログインID	現在設定されているログインIDが表示されます。	最大16文字（半角文字）＜空欄可＞ (A~Z, a~z, 0~9, -, .)	admin
②	パスワード	新しく設定するパスワードを入力します。	最大16文字（半角文字）＜空欄可＞ (A~Z, a~z, 0~9, -, .)	admin
③	パスワード (確認用)	確認のため新しいパスワードを再入力します。	最大16文字（半角文字）＜空欄可＞ (A~Z, a~z, 0~9, -, .)	-

4 [設定] をクリックします

5 設定メニューより [設定データ保存] をクリックし、[OK] をクリックします

6 設定メニューより [メインメニューに戻る] をクリックします

7 メインメニューより [再起動] をクリックし、[OK] をクリックします

8 確認メッセージに対して [OK] をクリックします



お知らせ

- ログインIDとパスワードは、16文字以内で設定してください。
- お買い求め時は、ログインIDの初期値は「admin」です。パスワードの初期値は「admin」です。
- 設定をクリックしたときに、「同じログインIDが工事者用アカウントで使用されています。」と表示された場合は、別のログインIDを設定しなおしてください。
- 【設定データ保存】をクリックする前に再起動したり、停電があった場合、設定データは最後に保存された値になります。

再起動を行うには

本商品の設定を変更したあとに再起動を行うことで、設定内容を反映することができます。

1 メインメニューより [再起動] をクリックします

再起動の確認画面が表示されます。



2 [OK] をクリックします

[OK] をクリックすると、「再起動してもよろしいですか?」という確認メッセージが表示されます。

3 確認メッセージに対して [OK] をクリックします

本商品が再起動されます。

ワンポイント

- 再起動を中止するには
手順2、3で [キャンセル] をクリックします。

お知らせ

- 通話中に再起動を行うと通話が切断されます。
- 再起動が完了するまで約1分かかります。再起動が完了するまでサービスはご利用になれません。
- 再起動後、Webブラウザからの保守を行う場合には、1分以上経過後に行ってください。

ファームウェアを更新するには

パソコン上のファームウェアを使用して、Webブラウザの設定画面からファームウェアを更新することができます。

1

Webブラウザを起動してメインメニューを表示します

「映像アダプタ設定を行うには」(P31)の手順1～3を行い、メインメニューを表示します。

2

メインメニューより【ファームウェア手動更新】をクリックします



3

【参照】をクリックし、パソコン上のファームウェアを選択します

4

【送信開始】をクリックします

5

「ファームウェア更新を行います。よろしいですか？」と表示されたら【OK】をクリックします

6

「ファームウェアの更新が終了しました。更新を有効にするには再起動を行ってください。」と表示されたら【再起動】をクリックします

【OK】をクリックすると、「再起動してもよろしいですか？」という確認メッセージが表示されます。

7

確認メッセージに対して【OK】をクリックします

3 行 う Web 設定 を

ファームウェアを更新するには
再起動を行うには

動作ログを確認するには

動作ログを画面で確認できます。

1

メインメニューより [動作ログ] をクリックします

2

動作ログを確認します



ワンポイント

- 動作ログを保存するには
[保存] をクリックします。
- 動作ログを消去するには
[クリア] をクリックします。

アラームログを確認するには

アラームログを画面で確認できます。

1

メインメニューより [アラームログ] をクリックします

2

アラームログを確認します



3
行
う
Web
設定
を

アラームログを確認するには
動作ログを確認するには



ワンポイント

- アラームログを保存するには
[保存] をクリックします。

停電になったときは

本商品は、停電時に使用することはできません。また、以下のことにご注意ください。

●映像が保存されない場合があります。

通話中、または通話終了直後に停電した場合、録画データは保存されない場合があります。

映像アダプタをお買い求めのときの状態に戻すには

お使いの映像アダプタを廃棄、譲渡、または返却するときは、次の操作を行って映像アダプタをお買い求め時の状態に戻してください。

- 1 映像アダプタの LAN ポートから、LAN ケーブルを抜きます
- 2 映像アダプタの電源コードのプラグを抜いて、電源を切ります
- 3 初期化スイッチ (P15) を押しながら、電源コードのプラグを電源コンセントに差し込み、電源を入れます
- 4 映像アダプタの POWER ランプの点滅を 5 秒以上確認したら、初期化スイッチを離します
- 5 映像アダプタの POWER ランプが点滅から点灯になったら、初期化完了となります

STOP お願い

- 初期化処理中は蓄積済み映像の削除等を行っているため、電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品の利用をやめる際は、必ず初期化を行い、設定した情報や録画した映像を消去してください。
- お買い求め時の状態に戻した場合は、保存映像も全て消去され本商品の機能がご利用できなくなります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼する前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
POWERランプが点灯しない	電源コードが正しく接続されていない	電源コードがきちんと接続されているか確認してください。接続されている場合は、テーブルタップなどに電源が供給されているか、ほかの電気製品などで確認してください。	—
POWERランプが緑点滅する	サバイバルモードで動作している	主装置と正しく接続されているか確認してください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。	—
LANランプが点灯しない	配線が間違っている	LANケーブルがきちんとLANポートに接続されていることを確認してください。	●P17
メディアIP電話機にカメラドアホンの映像が表示されない	配線が間違っている	当社のお問い合わせ窓口へお問い合わせください。	●P17
	主装置のカメラドアホンの設定が間違っている	当社のお問い合わせ窓口へお問い合わせください。	●P17
Webブラウザで映像アダプタにログインできない	ユーザー名／パスワードが間違っている	正しいユーザー名（お買い求め時：admin）とパスワード（お買い求め時：admin）を入力してください。 ※ユーザー名とパスワードは忘れないようにメモして安全な場所に保管してください。お忘れになった場合は、当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。本商品を初期化（●P43）した場合、ユーザー名とパスワードはお買い求め時の設定に初期化されますが、保存映像も全て初期化され本商品の機能がご利用できなくなります。	—
	パスワードを設定したあと、設定保存をしていない	パスワードを変更したときは、必ず「設定データ保存」を行ってください。この操作を忘れると、再起動したあとや、本商品の電源を入れ直したあとに、元のパスワードに戻ってしまいます。	●P32、37
Webブラウザで変更したとおりに動作しない	Webブラウザの適切なバージョンをインストールしていない	Webブラウザのバージョンを確認してください。古いバージョンをお使いの場合は新しいバージョンをインストールしてください。	—
	本商品の設定反映後、設定保存していない	設定を変更したときは、「設定データ保存」を必ず行ってください。	●P32、37
外出先へ転送できない	主装置のドアホン着信転送の設定が間違っている	主装置のシステム設定を正しく設定してください。それでも改善しない場合は、当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。	—
ALARMランプが赤点灯している	本商品に異常が発生した	本商品の電源を入れ直してください。それでも改善しない場合は、当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。	—
通話が途切れる または、ほとんど聞こえない	周囲の音が大きい	自分の周囲または通話相手の周囲で、ペットの鳴き声、テレビの音、子供の泣き声など、大きい音がしていると、通話が途切れることがあります。	—

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
カメラドアホンの電源ランプが点灯しない	配線が間違っている	当社のお問い合わせ窓口へお問い合わせください。	●P17
モニター中の映像がちらついて見える	映像保存中やボタン操作（カメラドアホンの場合）の際にちらつくことがあります	故障ではありません。	—
カメラドアホン2台で話せない	カメラドアホン2台で同時に話すことができない	カメラドアホンを2台設置しているときは1台のカメラドアホンでお話し中の場合は、もう1台のカメラドアホンから呼び出すことはできません。また、1台のカメラドアホンでお話し中の場合は、カメラドアホンを呼び出すことはできません。	—
カメラドアホンと外付けカメラを同時に利用できない	カメラドアホンと外付けカメラを同時に利用できない	カメラドアホン2系統、外付けカメラ1系統の内、一度に使用できるのは1系統のみです。	—
新たな映像を保存できない	映像アダプタに新たな映像を保存できない	映像データの記憶容量が上限に達している可能性があります。不要データを削除してください。	—
映像アダプタがあたたかい	内部に発熱するところがあるため、多少温度が上がる	故障ではありません。	—

アルファベット

ALARM ランプ	15
BUSY ランプ	15
CD1/CD2 接続端子	15
FG 端子	16
KEY1/KEY2 接続端子	15
LAN ポート	15
LAN ランプ	15
POWER ランプ	15
STATUS ランプ	15
Web設定	
映像アダプタ設定を行う	31
映像アダプタメニュー一覧	32

五十音

【ア行】

アース線	16、17
アラームログ	41
映像	
映像の保存について	18
カメラドアホンの映像を確認する	20
保存されている映像を再生／削除する	22
映像アダプタ本体	14
映像アダプタメニュー一覧	32
映像入力端子	15
応答	
カメラドアホンからの呼び出しに応答する	19
音声入力端子	15

【カ行】

各部の名前とはたらき	15、16
カメラドアホンからの呼び出しに 応答する	19
更新	
ファームウェアを更新する	39
故障かな？と思ったら	44

【サ行】

再起動	38
再生	
保存されている映像を再生する	22
削除	
すべての映像を削除する	25
保存されている映像を削除する	24、34
識別スイッチ	15
システム概要	11
主装置	11
本商品を主装置に接続する	17

仕様	47
状態表示	33
初期化スイッチ	15、43
セキュリティー装置接点入力端子	15
接続	
本商品にカメラドアホンを接続する	17
本商品を主装置に接続する	17
設置	17
設定	
Web設定を行う	29、31
保存する	37
セットの確認	14

【タ行】

停電	42
電源コード	16
電話機	11
ドアホンの映像を見る	22
動作ログ	40
取扱説明書ダイジェスト	14

【ハ行】

パソコン	
映像アダプタ設定を行う	31
発信	
カメラドアホンに発信して外の様子を確認する	20
ファームウェアバージョンアップ	39
付属品	14
保護	
映像を保護／保護解除する	27
保守サービス	48
保証書	14

【ヤ行】

ユーザー用 ID / パスワード設定	37
--------------------	----

【ラ行】

ランプ表示	15
ログ	
アラームログを確認する	41
動作ログを確認する	40

項 目		内 容
CD1/CD2接続端子	接続カメラドアホン	C-CDH2
	ポート数	2ポート (同時通話不可) ※1
	接続コネクタ	2ピンクイックコネクタ
映像入力端子	インターフェイス	NTSC入力 ※1
	コネクタ	RCA端子 (黄色)
音声入力端子	インターフェイス	モノラル入力
	コネクタ	RCA端子 (白色)
KEY1/KEY2接続端子	インターフェイス	JEMA対応 (CGM:3端子) 2ポート
	接続コネクタ	4ピンクイックコネクタ
セキュリティー装置 接点入力端子 (A-IN) ※2	インターフェイス	A接点入力 1ポート
	接続コネクタ	2ピンクイックコネクタ
LAN	インターフェイス	IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX オートネゴシエーション、Auto MDI/MDI-X対応
	ポート数	1ポート
	通信速度	10M/100Mbps
	接続コネクタ	RJ45 (8ピンモジュージャック)
マンマシンI/F	LED	POWER (緑)、LAN (緑)、STATUS (緑)、BUSY (緑)、ALARM (赤)
	スイッチ	識別スイッチ
		初期化スイッチ
画像圧縮	動画	MPEG-4
VoIP	音声符号化	G.711 (μ Law)
消費電力		最大15VA、最大12W、10.3kcal/h
電源		AC100V \pm 10% 50/60Hz
VCCI		クラスA
外形寸法		44mm (W) \times 385mm (D) \times 200mm (H) (フロントカバー込み)
質量 (本体)		約1.2kg
使用環境	温度	5~35 $^{\circ}$ C
	湿度	45~80% (結露のないこと)

※1：映像・音声処理回路は、1回路です。同時使用は出来ません。

※2：使用しません。

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください）。

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無償で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要となります。

●故障に関するお問い合わせ

局番なしの113番（無料）へご連絡ください。

※携帯電話・PHSからは「0120-444113」（無料）にてお受けしています。

受付時間：24時間（午後5時～翌朝午前9時の間は録音による受付となります）

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後7年間保有しております。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等で不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9:00～17:00

年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

受付時間 9:00～17:00

年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。
